

資料編

課外活動について(見学箇所以外の現地での様子)



スーツケースの取っ手が破損。
日本のように丁重に扱わないので、対策した
方がいいかもしれません。



ヘルシンキヴァンター空港の様子



フィンランドのスーパー等ではこの販売の仕方が主流で食べたい分だけ入れ物にいれて自分で重さを計る。付近にはかりがあるので、計ったあと重さが書かれたシールが出てくるので、それを入れ物に貼ります。



VR=特急列車のこと。基本的に機械でチケットを購入する。市内から空港までは旅行会社で手配だったが、帰りは自己手配でした。



VR(特急列車)は日本に比べて荷物を置く場所がほぼなく、列車の扉付近に置くスペースはあります。ほぼ置く場所がなかったので、皆足下に無理矢理押し込んで座り方はあぐらか体育座り、隙間から足をだしたりしていました。かなり窮屈だったので、VRを使うときは気をつけてください。



EduCamp の期間で利用したバスは結構広めでとても快適でした。

宿泊先について

研修中の宿泊先については以下のとおり。

ライタラン・ロマット(Laitaran Lomat)

住所	Laitalantie 85, 75710 Karhunpää, フィンランド
TEL	+358 50 022 7011
宿泊日	2025年6月9日(月)から6月12日(木)(4泊)
宿泊費	1人当たり25€
食事	夕、夜食付き 夕食(1食につき35€)、夜食(1食につき14€)
URL	https://laitalanlomat.com

4泊したコテージで本研修の拠点となった。生徒で1棟、通訳と教員で1棟借り宿泊した。サウナが3-4箇所設置されています。



先生のコテージの中はこのような雰囲気

先生のコテージについてのサウナ



生徒のコテージの雰囲気



夕、夜食のメニューと様子

目の前で女将さんがソーセージやクレープを焼いてくれました。

ホステル リンヌンラハティ(Hostel Linnunlahti)

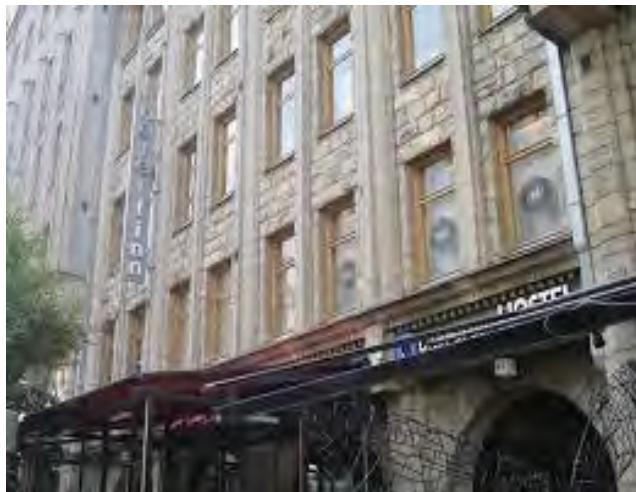
住所	Kalevankatu 5B, 80110 Joensuu, フィンランド
TEL	+358 50 408 4587、sales@linnunlahtihostel.fi
宿泊日	2025年6月8日(金)から1泊
宿泊費	1人部屋 68€(教員) 2人部屋 81€、最大4人部屋 148€(生徒)
食事	朝食付き



見学後にバスで2時間ほど移動しました。部屋はとても綺麗で使いやすいと感じました。バスタオル、ハンガー、ポット、冷蔵庫、キッチンがあり、ちょっとした料理などは出来そうなホテルでした。ただ、ドライヤーがないホテルだったので、髪を乾かすのは大変。

ホテル フィン ヘルシンキ(Hotel Finn Helsinki)

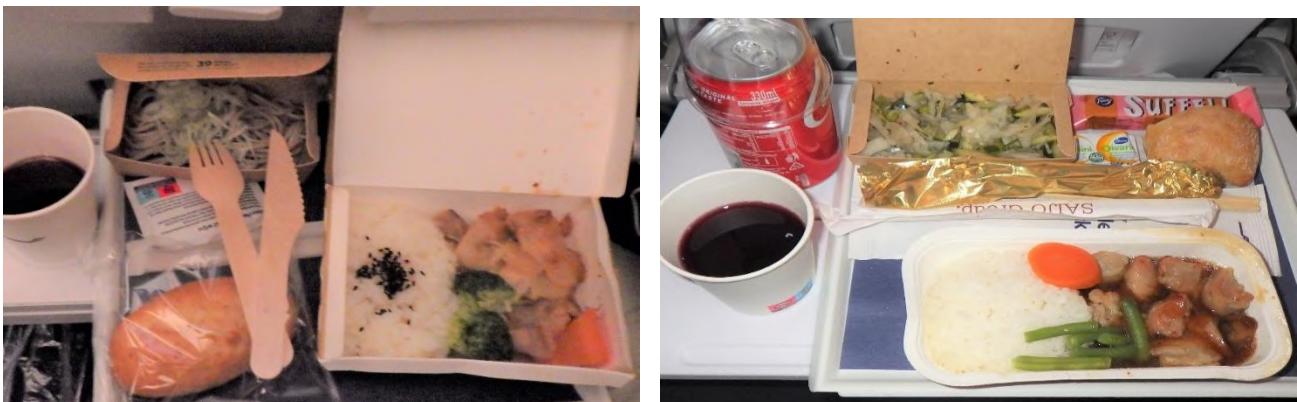
住所	Kalevankatu 3 B カンピ, 00100 helsinki フィンランド
TEL	+358 9 6844360
宿泊日	2025年6月13日(金)から2泊
宿泊費	1人部屋 343€(教員) 2、3人部屋 184€(生徒)
URL	https://www.ihg.com/holidayinn/hotels/gb/en/helsinki



ヘルシンキ中央駅から徒歩8分くらいにあるので、非常にアクセスが良い。
ただ、電子レンジと冷蔵庫の設置はありませんでした。
※朝食は、旅行会社の手違いで自己手配となった。

食事について

追記1【Finnair の機内食】



追記2【リベリア食堂&ランチ・パッケージ(弁当)】





追記3【フリータイムの食事等】





生徒の意見について

帰国後、本研修について生徒にアンケートを行ったので、その回答結果について以下のとおり記載する。

○リベリア林業専門学校(バルティモキャンパス)

<オリエンテーション>

【良かったこと】

- ・実機シミュレータと走行体験はなかなかできない体験であったのでとても有意義だった。

【生徒からの意見】

- ・機械作業に教本があるということなので、是非読んでみたい。

【その他感想】

- ・リベリアでは段階を踏んだカリキュラムや有用なメソッドの確立に尽力して おり、特に卓上シミュレータや実物の機械を使った練習機は生徒の技術力向上に大きく貢献していると感じた。
- ・リベリアの教育理念や教育方針を詳しく知ることができた。機械作業の理論など学院で活用できそうな内容も多かったと思う。その後の学校見学では専門の装備や実習室など色々な施設を見ることができ興味深かった。

<植栽実習>

【良かったこと】

- ・フィンランドやヨーロッパで行われている独自の植栽方法や機械操作を実際に学べたエリアであったため、とてもよかったです。

【生徒からの意見】

- ・実際に日本とどれくらい環境が違うのか、便利な道具や考え方がはっきり違うと認識できる良い機会であるため、植栽実習はあって良いと思う。

【その他感想】

- ・植栽実習ではフィンランド(もしくはヨーロッパ)の独特的な植栽現場を見学できたので良かった。また、植栽方法だけでなく苗の観察や凍土対策の深植え、植栽本数や活着状況など造林作業に関わる様々な知識を得ることができた。

<高性能林業機械実習>

【良かったこと】

- ・講師のヴィレ先生の作業を後席で見学したり、リベリアの生徒の集材作業を見学できたりしたのも実習を非常に有意義なものにしてくれた。

【生徒からの意見】

- ・高性能林業機械実習も外さない方が良く、事前にシミュレータを念入りに行い、ソフト上の光景が本当に広がっていることを認識し、日本との仕事環境、効率化する意味と実際の効率化を肌で感じ取れるため。

【その他感想】

- ・ポンセ社やジョンディア社のハーベスターを用いた伐採体験では海外製高性能林業機械の力強さを体験することができた。重いヘッドをスムーズに動かすことができる力や建設機械ベースには無いブーム・アームの複合的なコントロールによってシミュレータ通りの動きができたことに感動した。

<地拵え実習>

【良かったこと】

- ・地拵え現場の見学では日本のやり方とは全く違う作業のため、見ていて非常に面白かった。

【生徒からの意見】

- ・地拵え実習で出来ればキャビンからの作業見学や実際に作業してみたい。また、種まき機など見学できていない装備もあったのでまだまだ見所はあると思える。植え付けとセットとなる作業なので今後も見学すべきだと感じる。
- ・総じて製材志望にはとても有意義な研修だと感じられた。また、時間配分もちょうどよいと思う。

【その他感想】

- ・地拵え実習は北海道とやり方が異なり、個人的には大変興味深かった。

○企業見学

<アルボナウト社>

【良かったこと】

- ・フィンランドは森林で取る標準地のプロットが日本よりも遥かに多く、調査で出るデータの精度が高いことを知れてよかったです。
- ・日本とはまた異なる最新技術を取り入れてるので、生徒にとっても勉強になる内容ばかりだったので、講義を受けてよかったです。

【生徒からの意見】

- ・アルボナウト社は全体を通して唯一のICT関連の講義であったので来年度も訪れるべき。

<ジョンディア社、ポンセ社>

【良かったこと】

- ・ジョンディア工場見学では企業説明の場で林業機械開発の理念や方向性を知れたのが良かった。
- ・研修に直接には関わらないがポンセの専用ショップでグッズを買えるところも良い。

【生徒からの意見】

- ・ポンセ以外でも「モノ」として残るものがあってもいいのでは。(リベリア学校のステッカー、ジョンディアやクフモのグッズなど)
- ・ジョンディア社と規模感は似ていて、考え方も似ており、あえて比較するほど目新しい感じもしなかったためポンセ社かジョンディア社のどちらか1社で良いと思う。
- ・ポンセ社はジョンディア社とはまた変わった生産ラインを持っているため、同じ業態でも見えてくる視点は変わってくると思うため、比較を行うと言う点でも研修があればよいと思う。

【その他感想】

- ・ジョンディアの工場では1日当たり8台前後の機械が製造されており、その全ての工程が無駄のない、工程を見れば見るほど巨大な機械が組み上がっていくことへの驚きや壮大さを感じた。
- ・ポンセ社の見学は研修初期にジョンディア社の工場見学を行っていることから重複する事柄も多々あった。ただ、対比できる部分もあり日本での需要に関してはポンセの方が理解はあるので質問の解答は得られやすいと感じた。また、ポンセは創業から製作してきた林業機械の編纂が特に面白く、脚付のハーベスターなど興味をそそられるものが多かった。工場以外にも部品倉庫を見学することもできたが、そこでも日本の需要などを知ることができることが一番の利点だと感じる。
- ・PONNSE 社の工場見学は、オートメーション化された空間で大きな林業機械を作っている光景は圧巻でした。お土産買えたのもよかったです。

○その他観察

<ヌルメス市内観光>

【良かったこと】

- ・ヌルメス観光はフィンランドの歴史や風土を知れて良かった。

【生徒からの意見】

- ・ヌルメス市内の観光は、無くて良いと思う。事前に歴史の学習や文化の違いをはっきり認識させ、改めて現地を見るという課程があって初めて意味があると考える。ツアー旅行ならいいが、あくまで研修であるため。
- ・木材産業を希望する人もいる場合があるので、木材産業・または建築会社への研修も増やしても良いかと思う。
- ・バスで走り去るよりもより深く建築を見ることが出来るため、来年以降もやるべきであると思う。

【その他感想】

- ・ヌルメス観光では歴史的な建築方法や文化を詳しく学ぶことが出来た

<ムルトヴァーラ博物館>

【生徒からの意見】

- ・この日の実習は来年度も受け継ぐべきかと思う。ムルトヴァーラ博物館は、フィンランドの歴

史を知る上で、序盤の日に行くのがベストかと思う。

<クフモ市内(音楽ホール、クフモ製材工場、クロスラム工場)>

【良かったこと】

- ・クフモ市の音楽ホール観光は地域の木材が活用されている実例を見てることができて良かった。
- ・日本ともゆかりある建築で興味深かったし、中継の見学地としても丁度良かったと感じる。
- ・その後に見学したクロスラムの CLT 工場も、あまり見学できない CLT の生産工場を見学できて良いと思う。

【生徒からの意見】

- ・日本の製材工場とは規模や人数の配置、トレーラーの大きさなどはっきり違いがわかり、効率化をどのようにやっているかなどの考え方の違いがわかると思うので、クフモ市内音楽ホールや製材工場などの工場見学はあった方がよいと思う。
- ・構造を造る上での音の響きのテスト方法は現地で聞いた方がより印象に残りやすいため、来年以降もここでの研修があった方がいいと思う。

【その他感想】

- ・クフモ製材工場はその大きさと中央制御システムを見学でき、かなり面白かった。
- ・ミサワの工場との対比をすることもでき、製材業志望にはかなり有意義な見学地だと思う。
- ・パソコンのない時代に造られた音楽ホールの精巧さにとても驚いた。また、公演される音楽によってホール自体が変形するのも驚いた。